

創立 1980年10月8日



ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0940 堺市堺区車之町西2丁1番30号 ポピア南海3階302号

Tel (072) 223-2300 番 Fax (072) 223-5005 番

URL : <https://www.sakai-kita.jp/>

E-mail : snrc@jasmine.ocn.ne.jp

例会日 毎週金曜日 午後0時30分

例会場 南海グリル 天兆閣別館4階「ローズ」 Tel: (072) 222-0131 番 (代表)

ガバナー(第2640地区) : 豊岡 敬

ガバナー事務所 URL : <http://rid2640g.com/toyooka/>

E-mail : toyooka@rid2640g.com

会長: 中川 澄 幹事: 綿谷伸一 広報委員長: 池田茂雄 編集者: 奥野圭作



四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

本日の例会

2022年5月20日(金)第1950回

- 卓話 「鳥井駒吉の生涯」
- 卓話者 鳥井 洋様
- 紹介者 三上 尚嘉 会員
- 今週の歌 「日も風も星も」「堺北RCの歌」「いつでも夢を」
- お客様紹介・出席報告・
- 会長の時間・委員会報告・
- 幹事報告・SAA報告

今週の歌 「いつでも夢を」
 星よりひそかに 雨よりやさしく
 あの娘はいつも 歌ってる
 声がきこえる 淋しい胸に
 涙に濡れた この胸に
 言っているいる お持ちなさいな
 いつでも夢を いつでも夢を
 星よりひそかに 雨よりやさしく
 あの娘はいつも 歌ってる



前回の例会

2022年5月13日(金)第1949回

「これってセクシュアル・ハラスメント？」

堺市 男女共同参画推進課 出前授業用 DVD 鑑賞

今週の歌 「それでこそロータリー」

「バラが咲いた」

お客様紹介・出席報告・

会長の時間・委員会報告・

幹事報告・SAA報告

○皆出席表彰(5月度)

該当者なし

<5月13日(金)の出席報告>

会員数	28名
出席会員	15名
欠席会員	13名
ゲスト	0名
ビジター	0名

次回の例会

2022年5月27日(金)第1951回

「次年度のための

第3回クラブアッセンブリー」

次年度各委員会委員長



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22年度 国際ロータリーのテーマ

「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

国際ロータリー会長 シェカール・メータ (インド・カルカッタ-マハナガルRC)

卓 話

「これってセクシュアル・ハラスメント？」

堺市 男女共同参画推進課

堺市 男女共同参画推進課より、DVD『ケースで学ぶ セクシュアル・ハラスメント』（制作・著作：PHP 研究所）をお借りし、鑑賞会を行いました。

実際に職場で起こったセクハラの実例をドラマ化にされており、発生を回避するポイントを学びました。

下記は、PHP 研究所ホームページよりこのDVDの内容説明より抜粋します。

セクハラの実例

セクハラとは、「職場で行なわれる相手の意に反する性的な言動によって、労働条件などの不利益を受けたり、職場環境が害される行為」のことです。

セクハラに関するニュースが連日のように報道され、職場でのセクハラが、働く人の尊厳を不当に傷つける社会的に許されない行為であるという認識が広まってきました。しかし、下のグラフに見られるように、都道府県労働局に寄せられるセクハラの実例件数は高止まりの状態が続いています。この結果は、セクハラについての理解がまだ十分でないことを示唆するものといえるでしょう。

改正セクハラ指針は、LGBT への対応を明記厚生労働省が定める「セクハラ指針」では、セクハラ防止について、企業が必要な措置を講じなければならないことが定められています。また、平成 29 年 1 月に施行された改正指針では、LGBT など性的マイノリティへの職場での性的言動や嫌がらせも従来のセクハラ防止措置の枠組みの中で対応をするように企業に求めています。それにともない、就業規則の変更や、研修内容の見直しが必須となっているのです。

こんな言葉もセクハラ？！

では、具体的にどのような言動がセクハラになる

のか、事例を見ていきましょう。

みなさんの会社では、次のような言葉が使われてはいないでしょうか。

- ・「彼氏はいるの？」「彼女は？」
- ・「君たち二人はお似合いだな～。付き合っちゃえよ」
- ・「それくらいでセクハラっておおげさだ。自分が若い頃は、普通のことだったよ」
- ・「男のくせに情けない。根性がないな」
- ・「女性の幸せは、結婚して子どもを産むこと」「男性が育児をするなんて理解できない」
- ・「LGBT って理解できない」

これら言葉はすべて、セクハラに該当する、あるいはセクハラの実例になる発言です。

もし、ひとつでも思い当たる発言があれば、対策が必要です。知らないところで、セクハラが行なわれている可能性があります。「こんなことでも……」と思うことが問題になるのが“今の時代のセクハラ”なのです。

セクハラは複雑化・多様化している

一昔前までは、男性が女性を触る、露骨な性的発言をする、といった行為がセクハラとされてきました。しかし現代では、女性から男性、あるいは同性間の行為もセクハラに該当します。また、性別役割分担意識にもとづく発言や LGBT への性的言動・嫌がらせは、セクハラの実例になります。このように複雑化・多様化したセクハラをいかに防止するか。これは、企業で働く私たちに与えられた使命だといえるでしょう。

セクハラを職場からなくすためには、正しい知識を学び、しっかりと理解する努力が欠かせません。

会長の時間

会長 中川 澄



本日は、契約書のお話です。契約書を作ったり、他人が作った契約書がクライアントにとって不当に不利ではないかチェックしたりするのは結構重要なお仕事です。契約書の種類によって、見るポイントがあります。

賃借人の立場で賃貸借契約書を見る場合、絶対に確認するのは、顧客が賃借建物を毀損した場合にまで責任を負わされる条項になっていないかです。従業員が賃借建物を毀損した場合、使用者である会社が損害賠償責任を負うのは、法律上当然です。また、出入り業者が賃借建物を毀損した場合、会社が損害賠償責任を負うのは、法律上当然ではないにしても、そんな業者を会社の責任で使って出入りさせているわけですから、まあ、しかたがないかと思えます。しかし、飲食店などの店舗は、お客を選べないしお客をコントロールすることもできないので、お客が酔っ払って建物を破壊した場合責任を取らされたらたまったものではありません。しかし、顧客が賃借建物を毀損した場合に賃借人に責任を負わせようとする契約書はかなり多く、私がチェックするときは必ず削除してもらっています。

そのほか、賃貸借契約書は、中途解約条項がどうなっているかは気を付けて確認します。3年とか5年とか10年という期間を決めて賃貸借契約を締結した場合で、賃借人が途中で撤退したい場合、中途解約条項を入れておかないと、残りの賃借予定期間分の賃料を支払わされる可能性があるからです。

SAA 報告

(50音順)

坂田兼則会員 現在、176 cm、64 kg。身長 1.5 cm 戻りました。

鶴 啓之会員 今日のセクハラの話、よく勉強して、会社でも活かしたいと思います。

永富久紀会員 先週結婚記念お祝いいただきました。

合計 18,000円

幹事報告

(1) 配布物

- ・週報
- ・2022-2023年度の会員名簿の校正のお願い

(2) 2022-2023年度の会員名簿の校正のお願い
標記の件、ご確認のうえ、校正お願いいたします。6月10日(金)迄に事務局までご返却下さい。

その他

(<https://www.rotary.org/>)

「ロータリーはウクライナでの 人道的危機に対応しています」

ロータリーは、ウクライナでの戦争による人命の喪失および人道的危機の深刻化を深く懸念しています。私たちは地域に根づいたネットワークと数十年にわたる経験を生かし、現地で迅速に行動を起こしています。



「医療物資をいっぱい積んだ2機の貨物輸送機がシカゴを出発。これらの物資は、現地の会員の協力を通じてウクライナ各地へと届けられます。」 記事 Arnold R. Grahl

ロシアの軍事行為によるウクライナでの人道的危機が続く中、北米、アルゼンチン、ヨーロッパのロータリー会員が、米国のウクライナ人医師会との協力や自らのネットワークを駆使し、医療物資100トン超を収集しました。

止血帯、止血ガーゼ、血圧計など、集まった大量の医療物資は、2機の貨物輸送機でシカゴからヨーロッパに運ばれました。現地で最も必要とされる物資を特定するために、ロータリー会員が病院と毎日連絡を取り合っています。

国際ロータリー理事エレクトであるパット・メリーウェザー-アルジェスさん(ネーパービル・ロータリークラブ[米国]会員)は、「ロータリーは、

ネットワークを築き、人びとを結束させ、物事を成し遂げることに長けている」と話します。

必需品リストにある物資や機器を購入するため、北米とアルゼンチンのロータリークラブがリソースを寄せ集め、製薬会社や医療機器製造業者の知り合いを通じて物資を集めています。シカゴ近郊の病院が救急車1台を寄贈したほか、米国メイン州の会員は「C アーム」と呼ばれる、爆弾金属片による負傷者のための可動式X線装置1台を確保しました。

こうした物資は、北米ウクライナ医師会 (UMANA) が運営する倉庫に次々と集まっています。数百マイル離れた他州のロータリークラブからも、大型トラック数台分の物資が、シカゴのオヘア国際空港近くにあるこの倉庫に運ばれています。

倉庫内では、UMANA とロータリーのボランティアが、発送前の物資の整理と仕分け、梱包を行っています。発送費は数名から寄せられた寄付で賄われます。

「ロータリアンがほかのロータリアンに声をかければ、素晴らしいことが成し遂げられる」と話すのは、マーガ・ヒューコさん (シカゴ・ロータリークラブ会長) です。

マーガさんの夫である国際ロータリーのジョン・ヒューコ事務総長兼CEOは、ウクライナ系米国人で、キーウ・ロータリークラブの創立会員です。ヒューコ夫妻は、1990年代に5年間、ウクライナに住んでいました。

今年はじめ、マーガさんとシカゴ・ロータリークラブは、ウクライナの都市リヴィウのがん患者のための幹細胞保存施設の設定に向けて、シカゴとウクライナの医師たちと協力していました。この保存施設は、細胞を長期間保存し、より複雑な研究を支援することが目的でした。

戦争の勃発により、この活動の焦点は人道的支援へと切り替わりました。

「シカゴのウクライナ人コミュニティに連絡を取り、どう支援できるかを尋ねました。また、ウクライナ人医師たちとのつながりを通じてUMANAについて知りました」とマーガさん。

1950年に創設されたUMANAは、会議や北米・ウクライナ間の医師の交流を通じて教育を促進しています。戦争勃発後、UMANAのボランティアが

ウクライナへの医療物資の発送や、医師と製薬会社とのネットワークを通じた医療物資・機器の収集を開始。ほどなくして、このプロジェクトにロータリークラブも加わりました。

アルゼンチン出身のマーガさんは、母国の知り合いを通じてアルゼンチンのクラブからの協力を募りました。これらのクラブの会員も、それぞれの人脈を通じて資金や医療機器を集めています。

UMANAの倉庫を見学したマーガさんとメリーウェザー—アンジェスさんらは、このプロジェクトの効率の高さと規模の大きさに感心しています。

「ただ素晴らしいとしか言いようがありません」とメリーウェザー—アンジェスさん。「UMANAとの協力を選んだのは、シカゴのウクライナ人コミュニティとの強いつながりがあるからです。これまでにパレット約400個分の物資の仕分けと梱包を行いました」

引き続き、ウクライナ国内の会員が医療必需品リストを作成しています。外科医であるオルハ・パリイチェクさん (チェルカースィ・ロータリークラブ会員、トルコ・ウクライナ国際共同委員会のメンバー) は、毎晩病院に電話をかけて必要物資を確認しています。

病院への配達の手配は、チェルカースィに住むパリイチェクさんのほか、リヴィウやオデーサに住む会員が行っています。

ウクライナ国内外の会員によるこうした行動は、ロータリーのネットワークがもつ力を物語るものだと、マーガさんは言います。

「戦争のただ中で、しかもロシア軍が病院を標的とすることもある中で、ウクライナ国内のロータリーボランティアたちが国中に物資を届けているという事実は、“超我の奉仕”以外の何ものでもありません」

